

サーキュラーシティ蒲郡



Outline ビジョンと7つの重点分野の設定により総合的に施策を展開。

【背景・経緯】

蒲郡市では、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を2021年3月に宣言し、同年11月には、鈴木寿明市長がサーキュラーエコノミーを温室効果ガスの排出を実質ゼロにするための手段としてだけでなく、まちづくりに組み込み、蒲郡に関わる全ての人々がウェルビーイングを実感し、このまちを誇りと思う「君が愛する蒲郡」となるよう、「サーキュラーシティ」を目指していくことを表明。

【実施方針】

「つながる 交わる 広がる サーキュラーシティ蒲郡」をビジョンとして掲げ、7つの重点分野（教育、消費、健康、食、観光、交通、ものづくり）のもとにサーキュラーエコノミーを推進し、それぞれの取り組みを並行して進めて相乗効果を生みながら「ウェルビーイング」の実現を目指している。最終的な目標である「ウェルビーイング」を叶えるためには、「経済」「社会」「環境」それぞれで最適なバランスを保ちながら都市として繁栄することが重要としている。

Point① ステークホルダーとのワークショップを通じて、ビジョンと重点分野を策定

蒲郡市が今後の指針となるビジョンと重点分野を策定するため、市内のサーキュラーエコノミーに意欲的な企業・団体を集めて、ビジョンや重点分野を策定するワークショップ『GAMAGORI CIRCULAR CITY DESIGN WORKSHOP』を開催するなど議論を重ねるとともに、そこからコミュニティ構築につなげた。また、ビジョン策定を通じて、幅広い分野にわたる庁内調整も図りつつ、2022年4月に発足したサーキュラーエコノミー推進室を中心に事業を推進している。

Point② コミュニティ形成からアクションを生む「サーキュラーシティカンファレンス」

サーキュラーエコノミーに関するプロジェクトが創出され、取組みが広がっていくよう、全国から有識者や実践者などを招聘して講演やセミナーを実施する異業種交流イベント「サーキュラーシティカンファレンス」を開催。セミナーによるインプットに加え、サーキュラーシティの実現に向けたワークショップを通じて、今後の蒲郡市でのサーキュラーエコノミーの実装に向けたプログラムを検討。カンファレンスを通じて、市内企業と市外の事業者が連携し新たな企業活動も生まれている。

Point③ 社会実装に向けた実証実験プロジェクト

サーキュラーシティの実現に向けて、社会実装を目指し、市民や事業者・市が一体で取り組むプロジェクトである実証実験プロジェクトを公募し、実証実験プロジェクトを実施し、2023年度には6件、2024年度には5件のプロジェクトが進められている。

トヨタコネクティッド株式会社による「まちなかモビリティ」推進実証、Curelabo株式会社によるみかんの剪定枝等の未利用資源を活用し繊維にアップサイクル、サンローズ株式会社による廃棄カーテン生地をウェディングドレスに再活用するアップサイクルウェディングドレスなど、農水産業からものづくりまで幅広い産業分野での実証事業が展開されている。

- サークュラーシティカンファレンス
- アップサイクルウェディングドレス (サンローズ株式会社)

